

税 労 第 62-009 号  
令和 3 年 10 月 7 日

各地区本部執行委員長 殿  
中 央 執 行 役 員

日本税関労働組合  
中央執行委員長 倉 本 和 邦

第 61 期第 9 回及び第 62 期第 1 回中央執行委員会議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1、2 のとおり送付します。

第 61 期第 9 回中央執行委員会議事録

- 1 開催日時 令和 3 年 9 月 17 日 (金) 午前 9 時から午前 9 時 50 分
- 2 開催場所 中央書記局及び各地区本部 (オンライン開催)
- 3 出席者  
[中央執行委員長]  
奥平昌浩  
[副中央執行委員長]  
浅野浩一、原川佳也、倉本和邦  
[中央書記局]  
鈴木宏彰 (書記長)、山口剛聡 (書記次長)  
[中央執行委員]  
武田靖、三浦慎也、太田美菜、秋山浩一、齋藤雅記、脇中啓之、村岡和弥、福本一也、  
新里薫  
[オブザーバー]  
佐藤裕一 (会計監査)、長谷川兼史郎 (議長)、河野宜久 (議長)
- 4 議 題  
(1) 定期大会関係  
(2) その他
- 5 議事内容  
○中央執行委員長挨拶  
～省略～ (※定期大会挨拶参照)  
  
(1) 定期大会関係  
○承認事項  
・第 62 期予算 (案) の説明を行い、第 62 回定期大会にて同予算 (案) を提出すること  
について承認された。  
○確認事項  
・第 62 回定期大会進行要領について確認した。  
  
(2) その他  
・特になし

以上

第 62 期第 1 回中央執行委員会議事録

- 1 開催日時 令和 3 年 9 月 17 日 (金) 午後 1 時から午後 4 時 30 分
- 2 開催場所 中央書記局及び各地区本部 (オンライン開催)
- 3 出席者  
[中央執行委員長]  
倉本和邦  
[副中央執行委員長]  
齋藤雅記、原川佳也  
[中央書記局]  
鈴木宏彰 (書記長)、村岡和弥 (書記次長)  
[中央執行委員]  
武田靖、三浦慎也、浅野浩一、太田美菜、秋山浩一、佐藤裕一、脇中啓之、福本一也、  
新里薫、呉屋堯歩  
[オブザーバー]  
奥平昌浩 (前中央執行委員長)、山口剛聡 (前書記次長)
- 4 議題
  - (1) 第 62 回定期大会総括
  - (2) 承認事項
  - (3) 第 62 期における具体的な取り組み
  - (4) 推薦議員について
  - (5) 確認事項
  - (6) その他
- 5 議事内容  
○中央執行委員長挨拶  
～省略～
  - (1) 第 62 回定期大会総括  
定期大会について総括を行った。各地区本からの意見は以下のとおり。
    - ・今回議長を務めたが、オンラインだと発言者指名の際、顔と名前が一致しない。よって、発言者自身が地区本部名と名前を名乗るようにしたがどうだったか。  
⇒中央回答) 適切な対応だった。

- ・拍手で確認、挙手で確認するところがあったが、オンラインだと発言者以外はミュートにしているので挙手で統一のほうが望ましいのでは。  
⇒中央回答) 来期もオンライン開催となれば全て挙手で検討する。
- ・委任状を出席者に入れるのはおかしいのでは。一般的に民間では委任状でも出席と認めているが、税関労組の歴史として出席者のみを対象とした方が望ましいと思われる。  
⇒中央回答) おっしゃるとおりと考える。今後、出席者の方向で検討する。
- ・質疑応答について事前に集約して回答し、大会当日に追加の質疑があれば回答するやり方としているが、それだと初めて大会に参加した代議員は質疑がなかったと勘違いされるおそれがある。時間がある場合は事前の質疑応答も発表したらどうか。  
⇒中央回答) 一つの案だと思うので次回の大会では検討したい。
- ・合いの手を入れる場合、オンラインだと難しいのでスタンプ機能を使ってはどうか。  
⇒中央回答) 一つの案だと思うので次回の大会では検討したい。

## (2) 承認事項

- ・退任者（奥平、山口）への専従者補償金について承認された。
- ・退任者（山口）及び新任者（倉本、村岡）の引越費用について承認された。
- ・組織対策費として、函館地本に 500 万円を配付することが承認された（前期余剰金は例年どおり返納対応）。

神戸地本にも例年 100 万配布しているが、今期は中央から前期繰越金の返納不要と聞いているので例年の 100 万は不要との申し出があったので配布しないこととした。

### 【経緯】

単一体になる前は地本ごとに組合費が設定されており、一律にしたことで、組合費が下がった地本がある。管轄が広大であり旅費等が高額になるため、単一体になった（組合費が減った）ことによって、活動が停滞してしまっは本末転倒ということもあり、組織対策費として中央から拠出することとしている。

- ・青年委員会役員について承認された。

## (3) 第 62 期における具体的な取り組み

- ・最近のテレワーク導入に対応するため、今期は制度政策委員会を開催し、問題事項等を検討のち、関税局長宛に要求書を提出することを検討している。
- ・第 61 期第 8 回拡大中執で決定した、「組織率低下に対する具体的取組」として各地区本部における活動状況（翌月 10 日提出）を中央書記局にて取り纏め、再度各地区本部へ共有しつつ、中央書記局より加入状況における取組みについて、少しずつフィードバックを求め、その返答内容についても再度各地区本部へ共有を図っていき、少しずつ活動を実施していくことを改めて確認した。
- ・今期の組合費検討委員会について質問があった。

⇒中央回答) 前期検討し、結論が出ているので今期専門委員会を設ける予定は今のところない。ただ、中央執行委員会や書記長会議で必要に応じて検討していく。

- ・各種専門委員会について、以下のとおり決定した。

海 事 専 門 委 員 会：◎三浦、齋藤、武田、佐藤、浦中、福本

行（二）等専門委員会：◎秋山、齋藤、浅野、佐藤、新里

男 女 協 働 委 員 会：◎堀田(将)、齋藤、堀田(夏)、太田、佐藤、脇中

青年担当中央執行委員：◎原川、齋藤、佐藤、呉屋

組 合 費 検 討 委 員 会：なし

制 度 政 策 委 員 会：◎倉本、齋藤、佐藤、長谷川

組 織 対 策 委 員 会：なし

#### （４）推薦議員について

- ・今期追加・削除の推薦議員は無し。

- ・愛知治郎議員の今期の取り扱いについて質問があった。

⇒中央回答）中央書記局として慎重に審査している。今後の動向をみつつ、検討する。引き続き推薦議員扱いとするが、横浜地区本部に迷惑をかけることは少ないと思う。

- ・前期、推薦議員とした公明党の複数人について配布資料に載っていない理由について質問があった。

⇒中央回答）配布資料は税関労組としての推薦議員という認識。質問の前期推薦した公明党の推薦は今回の衆議院選挙のためだけのものである。

- ・上記回答を受けて、ランクが分かれているのであれば全て載せたうえでランク付けしてわかるようにしたらどうかとの提案があった。

⇒中央回答）そのように対応する。

- ・配布資料の推薦議員で決議をとり、了解を得た。

#### （５）確認事項

- ・大会宣言、決議文及び青年委員会総会宣言について、関税局長宛 9 月 27 日（月）に提出予定。統一行動として、各地区本部においても税関長宛提出することを確認した。

※関税局長交渉の申し入れに関しても、上述の大会宣言等と併せて提出する。

- ・人事院登録のため、各中執及び各地本の名簿の更新を行い、中央に報告する事を確認した（各中執：9 月末まで 各地本：10 月末まで）。

- ・第 1 回四役会議について以下の予定で開催することを確認した。

10 月 21 日（午前 9 時 30 分から午後 5 時）

- ・内閣人事局・人事院交渉について以下の予定で開催することを確認した。

10 月 21 日（人事院：午前 10 時 30 から、内閣人事院：午後予定）

- ・第 2 回中央執行委員会（議事内容：第 1 回関税局長交渉議題）の開催時期について意見交換を行った。

⇒中央）土曜日開催の方向で調整するが、後日日程調整をさせていただく。第 2 回中執はWEB開催も考えており自宅からの参加も可としたい。

- ・第1回書記長会議については候補日を早めに各地区本部に送付する。
- ・中央総決起集会について、昨年は、社会的情勢【コロナウイルスの感染拡大を防ぐため】を踏まえ11月の開催は見送ることとし、4月実施について検討したものの「緊急事態宣言」等が、発令されていたことから中止となっている。今期もこのような状況下のため、年明けの春闘時期若しくは4月の人事院交渉に沿ったところで開催を延期したいと考えている。
- ・上記を受けて、今年の冬に連合はオンラインで開催していたと思うので、税関も4月に延期せず、オンライン開催で11月開催を検討してはどうかとの提案があった。  
⇒中央回答）オンラインで開催も検討している。ただ、総決起は組合員の交流も目的としているので早期にオンライン開催でとはせず、春まで様子をみて検討していきたい。

#### (6) その他

- ・各地区本部定期大会予定（中央出席者）を確認した。  
○9/25（土）函館地区本部（web）倉本中央執行委員長出席  
○10/1（金）東京地区本部（集合）倉本中央執行委員長出席  
○10/1（土）神戸地区本部（集合）倉本中央執行委員長出席
- ・年間スケジュールについて、配布資料を基に確認した。
- ・各地本における情勢報告  
横 浜：郵政でクラスターが発生して税関職員が抗原検査をしたが意見はなかった。  
監視艇しおかぜが廃艇⇒大型艇が予定されている。  
名古屋：職員周知があり、令和4年の概算要求でふじの代替船の予算がついた。  
神 戸：コロナウイルスの関係について、昨年4月から本年8月末までに全国の税関で125人が感染。PCR検査が837人とのこと。
- ・国公連合からのカンパ依頼について、カンパ方法、金額、支出科目について議論した。  
結果、国税と全財務に情報収集して、第2回中執で再度検討することとした。
- ・「2021 連合中央女性集会」の開催（Web：ウェビナー）に伴う参加要請について、10月22日（金）13:00～16:00 予定であるが、中央書記局は同日、全大蔵総会のため参加不可となっている。正式な發文は後日となるが、国公連合より4名（男女問わず）の参加を求められているため、各地区本部に協力を依頼した。
- ・今期においては、情報漏洩防止の観点からグループLINEでの情報共有は行わないことを確認した。
- ・中央書記局の在宅勤務について質問があった。  
⇒中央回答）在宅は検討するが基本的には誰かが出勤しているようにする。

以上